「新大分スタンダード」による主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導案（略案）例

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ①学年・組 | | ②職名・授業者氏名 | | ③教科 | ④ペアでの  話合い活動 | ⑤グループでの  話合い活動 |
| ３年１組 | | 教諭・日田　豆太 | | 国語 | 有 ・ 無 | 有 ・ 無 |
| ⑥単元名(題材名) | | 豆太ってどんな子ども？　豆太サイコロで伝え合おう | | | | |
| ⑦本時のねらい | | 豆太の人柄や性格を、  直接的に表現されていない会話文や行動描写などに着目させることによって、  多面的にとらえることができるようにする。 | | | | |
| ⑧本時の評価規準 | | 【思考・判断・表現Ｃイ】登場人物の人柄や性格について、会話文や地の文を基に多面的にとらえている。〔ノート〕 | | | | |
| ⑨  展開 | めあて | サイコロの面を作るために、豆太の人柄や性格を想像しよう。 | | | | |
|  | 課　題 | 豆太の人柄や性格がわかる文や言葉はどこに書いてあるかな。 | | | |
| 手立て | 「Ｃ:努力を要する」状況の児童への手立て  ・根拠となる叙述にシールを貼った拡大文に目を向けさせ、自分がとらえていない場面にも根拠となる叙述があることに気付かせる。  ・豆太の人柄や性格が表れている叙述を分類することで、自分が気付いていない種類の文や言葉に目を向けさせる。 | | | |
| 「特別な支援等の配慮を要する」児童への手立て  ・自分の立場以外の視点で他者の感情を理解することが苦手な児童に対して、会話文から順に視点を絞ってとらえさせる。 | | | |
| まとめ | ・豆太の人柄や性格がわかる文や言葉は、どの場面にも書いてある。  ・そのまま人柄や性格を表す言葉がなくても、会話や行動からも想像できる。 | | | |
| 振り返り | ・同じ人物でも人柄や性格は一つではないことがわかった。  ・ほかの友だちは豆太をどんな子どもだと見ているのか知りたいな。 | | | | |
| 板書計画  めあて  サイコロの面を作るために、豆太の人がらやせいかくをそうぞうしよう。  かだい  豆太の人がらやせいかくがわかる文や言葉はどこに書いてあるかな。  (場面)　①　②　③　④　⑤　全部  (文や言葉)  そのまま　おくびょうなやつ → おくびょう  会話　「やい、木い、」 → 強がり  行動　なきなき走った → やさしい  まとめ  ・豆太の人がらやせいかくがわかる文や  言葉は、どの場面にも書いてある。  ・そのまま人がらやせいかくを表す言葉  がなくても、会話や行動からもそうぞう  できる。  ふりかえり  ・同じ人物でも人がらやせいかくは一つで  はないことがわかった。  ・ほかの友だちは豆太をどんな子どもだと  見ているのか知りたいな。 | | | | | | |